

商学部における特色ある学部教育の補助「国内実態調査」 報告書

テーマ：金沢の地場文化研究および事業計画立案についての研究WS

科目名：演習Ⅰ・Ⅱ、課題演習

担当教員：潮 清孝

調査先：休暇村能登千里浜

調査期間：2025年9月15日(月) ～ 2025年9月18日(木)

参加学生数：1年生 名 2年生 名 3年生 19名 4年生 名

調査の趣旨（目的）

金沢大学エグゼクティブコーディネーター・畑様ご協力のもと、ゼミ生が考えたビジネスモデルをもとにした事業計画作成ワークショップを行う。畑様には毎年、当ゼミで実施している創業体験プログラムにおける事業計画作成についてのコンサルティングを行って頂いている。例年どおり、今年度も上記活動を4日間にわたって実施する。あわせて地場企業であるBushiozo彩土館店の竹吉店長にもご参加いただき、学生にアドバイスを頂く。

調査結果

金沢市内における市街地調査を行い、金沢文化全般およびそれらをもとにした観光業や飲食産業の現状などについて理解を深めた。観光客が多いため、見た目などを重視した商品が多く売られていた一方で、和菓子などを中心とした日本文化を前面に押し出した商品なども多く、インバウンドを含めた観光客向けの需要を取り込みながらも、地場の材料や技術、文化などをもとにしたproduct-out的な発想も根強いことがわかった。

それらを踏まえたうえで、畑様および竹吉様にご協力いただき、今後自分たちが設立した模擬株式会社による事業計画について、二日間をかけて議論および具体的なプレゼンテーション案を作成した。

金沢での市街地調査でも学んだとおり、自分たちが出店予定である白門祭における来場者の需要を取り込みながらも、自分たちの技術や強み、人的ネットワークを活かしたproduct-outの観点から製品・商品の差別化を図るための具体的な方策などについて議論を行った。